卒業制作企画

**タイトル：人材インターセクション**

**～発掘！こんなスキルの人がいたのか～**

【クラス・氏名】：DEV18・菅原　剛

**【卒業時の目的】：　リカレント教育へ活用**

【自己紹介】

・元々、技術職としてNHKに入局しましたが、４０代以降は実務から離れており最新技術  
には疎いです。

・昨年より協会内でのリカレント教育の検討を担当しています。  
労務部に所属した経験を活かしたいと社労士を受けて玉砕するなど果敢なチャレンジ精神力で、「おじさんがプログラマになれるか？」を体現すべく、再度プログラムに挑むためGs’アカデミーに入りました。

・労務部や内部監査室を経験するなど、常に技術屋さんとは違った視点で考える「変な技術屋」です。

【職歴：（なんのプロだったのかわかるように）】

・２０代　選挙の当確判定システムの開発（プログラミング）を担当。サーバー・  
クライアントのシステムの開発を通じて、LANにも詳しくなりました。

・３０代　番組を切り替えるシステムの設計を担当し、システムエンジニアとなりました。要は「話をするだけエンジニア」「物事知っているだけエンジニア」です。

・４０代　管理職となり、実践から離れる。労務部を経験し労務管理に詳しくなりました。

・５０代　内部監査室でも勤務し、監査手法に触れ、新たな世界が広がりました。

【企画を一言で説明して下さい】

・何かをやろうと思ったときに、そのスキルを有する人がどこにいるかわからないもの

です。一方で、身近にこんなスキルを有する人がいるのかと驚くこともあります。

・どの人がどんなスキルを有しているかを、簡単に調べられ共有できるようにしたいです。

・人事データのように、堅苦しいものでなく、サークルを作るように手軽に募集し、  
手軽にスキルのあるかたを調べられるようにしたいです。

・人事異動（案）作成の時に、「人となり」を示す生きたデータを提供し、透明性ある人事異動を実現します。

→現在の人事データは経歴や資格などはわかるが、実績や有するスキル（こんなことができる！）こんな特技（趣味でも会社へ貢献できそうなこと）など、「人となり」を記載できる枠がない。「人となり」を示すデータベースが必要で、これがあれば異動・新規事業・人材育成・リカレント教育など多方面で活用することができる。

【なぜそれをやろうと思ったのか】※着想の原体験からお話ください。- Why me

・リカレント教育を担当した際に、シニア層が最新のスキルを有していないことが分かりました。一方で、シニア層には新たなスキルを学習する機会がないこともわかりました。

・シニア学習カリキュラムを検討し、その受講生を選定する際に基礎となるデータが  
人事データしかなく、「経歴」「所有する資格」は把握できても、各自の趣向など  
「その人となり」を把握できませんでした。

・人事異動案の検討では、人事データやそれまでの当該職員との交流（過去に同じ職場で  
働いていたなど）を手掛かりに判断しており、客観性を欠いていました。

「管理職の経験と人脈で人事異動を行う」

→人となりを知らないので、知っている人を重用するしかないから（狭い視野）

→特定の部署にいたメンバーが、また特定の部署にあつまる（村社会）

→えらい方が出るとお友達が部長などのポストを占有する（派閥）

・新たに「人となり」を示すデータベースを作成し、より各自の個性を把握した人事異動を  
可能としたいです。

・また、「人となり」を示すデータベースを構築することで、プロジェクトや勉強会の開催などで、組織内の各自のスキルを最大限発揮できる体制を構築したいです。

・「人となり」を示すデータベースを構築すれば、異動・新規事業・人材育成・リカレント教育など多方面で活用できます。

【ユーザーと彼らの課題は？ - Who/What】

※どんな人か具体的に。彼らにはどんな課題・問題があるのか。

※なぜ彼らは使いたくなるのか。

（管理職が利用）

・現在、人事異動案を策定する管理職は、人事データや本人の人脈、関係者への情報収集  
など多大な時間を　かけて対応をしています。この業務の効率化が可能となります。

・プロジェクトや新たな業務を開始する際に、必要なスキルを有する方を見つけやすく  
なります。

・自身の所属する部局を希望する者を正確に把握できます。

（一般職が利用）

・異動を希望する一般職からすれば、自身希望がどのように活かされているか把握できず、  
　管理職の人脈のみで、異動させられているという透明感にかけた状態になっています。  
　どんな方が、どの部署へ多く異動できているかを知ることで、各個人が目標とすべき  
　スキルが明確になります。

・データベースに自身の有するスキルを記載し、アピールすることで、新た職場への  
展開が期待できます。

【**どうやって解決するのか（プロダクト） - How**】

※全体的な解決方法とプロダクトの位置づけ。

※最もユニークな機能。人力でやるのはどの部分？

※ビジネスモデル図は任意

・誰でも、いつでも気軽に登録できるデータベースを作成します。

・必要とする方が、データベースを検索し簡単に必要とするスキルを有する人を探せます。

・各自に対し、他者から「いいね」「神」などポイントを付加します

【イメージ図／仕様】

※画面の図解（手描きやパワポの図でも構わない）

※機能一覧（DB設計は任意）

パワポ参照

・考課表のように堅苦しいものでなく、自分をアピールできる掲示板を作ります。

氏名、入局年度、現在の担当業務、これまでの経験部局に加えて、

1. 自身が有するスキル（取得資格、持っている技術
2. 業務実績（業務報告書、報告会、情報誌記事など）、
3. やりたいこと（こんな仕事をやりたい、こんなものを作ってみたい）、
4. 興味のある部署、
5. 趣味、
6. 今後勉強したいスキル、
7. こんな事をやった、こんなものを作った自慢、

などを登録し、自分をアピールする場を提供する。

他のユーザーから「いいね」「神」などの評価をもらい多面評価を実現する。

・統計画面は、どんな方がどの部署へ異動しているかを集計表示する

1. スキル
2. 業務実績
3. やりたいこと（アピール語句）
4. 今後勉強したいスキル　など

＃これにより、「こうすれば、あの部署へ行ける」というイメージを示す

・管理画面は、管理職のみが閲覧可能とし、自部署を希望している方を一覧表示し、

1. スキル
2. 業務実績
3. やりたいこと（アピール語句）

などで集計する。

また、自部署へのクリック数やなども集計！

